



新橋小学校

# 学校だより

令和4年10月31日

令和4年度 第7号

## 少しずつ 一歩ずつ 着実に前へ

副校長 清水 浩一

先日、さわやかな天気の中、第51回運動会をおこなうことができました。来校いただきました学校運営協議会委員の皆様、保護者の皆様、温かいご声援をありがとうございました。一方で、新型コロナウイルス感染症の影響で観覧をご遠慮いただいたご来賓の皆様には、ご協力いただき、誠にありがとうございました。

3年ぶりに全校が一堂に会して開催した運動会では、学年の枠を超えて互いに応援する姿や上級生の演技や徒競走を見て憧れる下級生の様子がかげがえしました。また、運動会の運営を担う高学年の様子を見て、いつか自分も運営に携わりたいと思う児童もいたようです。このようなことに加え、全校が一堂に会したからこそ味わえた雰囲気や盛り上がり、一体感は、子どもたちに学校行事の楽しさや充実感を思い出させてくれたのではないかと感じています。

このような成果を得られたのも、日に日に熱が入る教員の指導する声やBGMの音を子どもの成長を支えるために必要なこととして、ご理解いただき、静かに見守ってくださる近隣の方々の温かいお気持ちがあったからこそ思っております。このお心があったからこそ、伸びやかに練習を積むことができ、子どもたちが自分の力を出し切って運動会を終えることができました。改めて感謝申し上げます。

今月は、3年ぶりに、新橋ペタンク大会や弥生台秋祭り、新橋連合自治会運動会などの地域の行事もおこなわれました。また、来月には学校では全校遠足が、地域では泉区民ふれあいまつりやアツテ祭りがおこなわれる予定です。新型コロナウイルス感染症が流行してからは、学校の教育活動だけでなく、地域行事にも多大な影響がありました。以前と同じようにとはいかないまでも、学校だけでなく、少しずつ地域の活動も再開されていることをとても嬉しく思っています。

新型コロナウイルス感染症の影響により学校行事や体験活動が減ったことによる子どもたちへの影響についての調査もおこなわれているようです。改めて子どもたちは、同学年だけでなく、大人も含めて様々な人とかかわり、多くのことを学びながら、自分のよさに気付いたり、興味関心の幅を広げたり、将来就きたい職業を見つけたりしてきていたことを感じています。様々な活動が再開されるにあたり、学校行事を含めた教育活動についても、目的や意義を話し合いながら、これまで同様、子どもたちのためにどういった内容をおこなっていくのかしっかり考えていきたいと思えます。

これからも子どもたちが温かい環境の中でいろいろな人とかかわりながら成長していけるよう、また、子どもたちの将来をより豊かなものにしていけるよう、今後とも本校の教育活動にご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。